

本商品につきましては、新規のご契約のお取り扱いを行っておりません。
ただし、既に本商品をご契約されているお客様につきましては、ご契約後の各種手続
のお取り扱いを行っております。

ハートフォードの NEWアダージオHG

ハートフォード生命保険株式会社の
変額個人年金保険Ⅱ型2003
＜20年運用コース＞

特別勘定の月次運用レポート 2012年4月末現在

- 市場概況
- 特別勘定の運用状況
- 組入投資信託の運用レポート



変額個人年金保険のリスクと手数料について

●変額個人年金保険は一時払保険料をファンドで運用します。ファンドの主要投資対象である投資信託は、国内外の株式・債券等で運用しており、運用実績が保険金額や資産残高・将来の年金額等の増減につながるため、株価や債券価格の下落、為替の変動により、資産残高、解約払戻金額は払込保険料を下回ることがあり、損失が生じるおそれがあります。

- 変額個人年金保険は預金等ではなく、預金保険制度ならびに投資者保護基金の対象ではありません。
 - 解約、一部解約(特別引出を除く)をした場合や年金受取開始日以降に年金を一括受取する場合等には、一時払保険料相当額の最低保証はありませんので、受取総額が一時払保険料相当額を下回ること(元本割れリスク)があります。
 - 保険関係費用:ご契約の新規成立・維持等や死亡・災害死亡の保障等をするための費用です。運用期間中、資産残高に対して年率2.37%の割合で資産残高から毎日控除されます。
 - 運用関係費用:ファンドの運用にかかる費用です。主にファンドが投資する投資信託の信託報酬で、信託財産に対して最大で年率1.155%(税抜1.10%)程度の割合で信託財産から毎日控除されます。運用手法の変更等の理由により将来変更される可能性があります。
 - 年金管理費:年金支払の管理にかかる費用です。年金の受取期間中、年金額に対して1%の割合で責任準備金から年金受取時に控除されます。
 - 解約控除:ご契約日および増額日からその日を含めて7年未満の解約、一部解約(特別引出を除く)をした場合にかかります。ご契約日からの経過年数に応じて、解約控除対象額※の7%~1%の割合で解約日の資産残高または一部解約請求額から控除されます。
- ※解約控除対象額は、解約の場合は一時払保険料相当額、一部解約の場合は一部解約請求額と一時払保険料相当額のうちいずれか小さい方の金額となります。なお、過去に一部解約があった場合はその際の解約控除対象額が一時払保険料相当額から差し引かれます。

*この商品にかかる費用の合計額は、「運用期間中の費用(「保険関係費用」「運用関係費用)」と「年金受取期間中の費用(「年金管理費)」」の合計額となります。また、特定のお客さまには「解約控除」がかかります。

当資料は、ハートフォード生命の、変額個人年金保険の特別勘定(ファンド)グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、ハートフォード生命より提供するものであり、ハートフォード生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。

・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。

・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

[募集代理店]
株式会社広島銀行 ひろぎんウェルスマネジメント株式会社

[引受保険会社]
ハートフォード生命保険株式会社

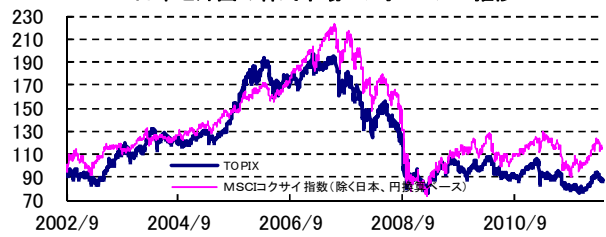
市場概況

代表的な指標の騰落率		1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年
日本株式	日経平均株価	▲ 5.58%	8.16%	5.92%	▲ 3.34%	7.85%
	TOPIX(東証株価指数)	▲ 5.86%	6.49%	5.26%	▲ 5.59%	▲ 4.00%
日本債券	NOMURA-BPI	0.52%	0.69%	1.49%	3.07%	7.64%
外国株式	MSCIコクサイ指数(除く日本、円換算ベース)	▲ 1.80%	11.29%	8.23%	▲ 6.98%	24.00%
外国債券	シティグループ世界国債インデックス(除く日本、円ベース)	▲ 1.27%	6.95%	7.09%	1.16%	▲ 2.68%
外国為替	米ドル対円為替レート(仲値)	▲ 1.22%	6.30%	4.42%	▲ 1.08%	▲ 16.97%

日経平均株価(円)の推移

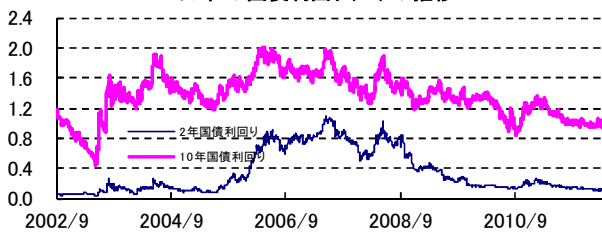


日本と外国の株式市場パフォーマンス推移

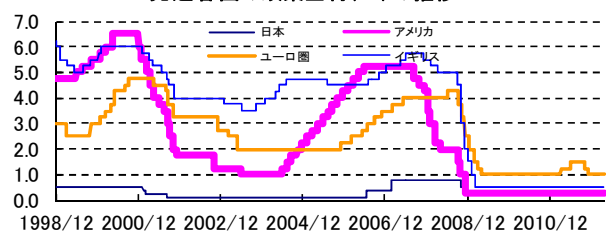


* 上記グラフは、2002年9月末を100として指数化しています。

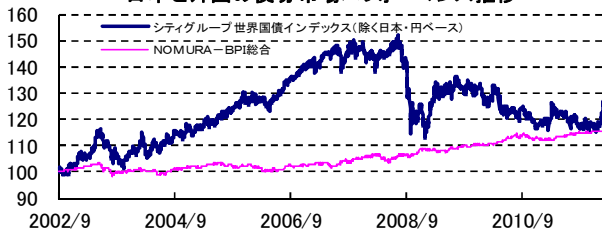
日本の国債利回り(%)の推移



先進各国の政策金利(%)の推移

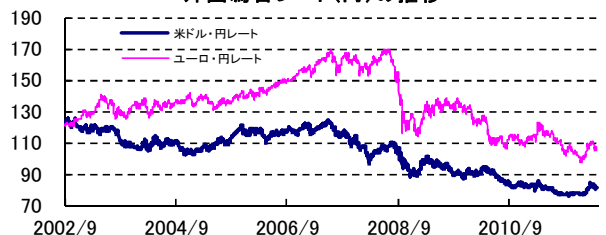


日本と外国の債券市場パフォーマンス推移



* 上記グラフは、2002年9月末を100として指数化しています。

外国為替レート(円)の推移



全てのデータの出所はBloomberg、野村総合研究所です。NOMURA-BPIとは、日本国内債券市場で発行されている代表的な公社債の流通動向を的確に表す投資収益指数です。当指数は、野村証券株式会社によって計算、公表されている、野村証券株式会社の知的財産です。MSCIコクサイ指数とは、MSCI Inc.が所有する株価指数で、世界の主要先進国の株式市場の動きを捉える基準として、広く認知されているものです。シティグループ世界国債インデックスとは、シティグループ・グローバル・マーケット・インクが開発した債券指数で、世界主要国の国債の総合投資収益を各市場の時価総額で加重平均し、指数化したものです。

【日本株式市場】

4月の日経平均株価は、日本経済の先行きへの楽観的な見方が後退したことなどから、前半は大きく下落しました。その後も欧州債務問題への不安が広がったことによる投資家のリスク回避姿勢が強まったことを背景に下落基調が続き、前月末より563円安の9,520円で取引を終了しました。

【日本債券市場】

新発10年国債利回りは、序盤こそ上昇する局面も見られましたが、依然として欧州債務問題への不安が拭えていないことや市場が日銀による更なる金融緩和を期待していたことなどから、低下基調が続き、前月末比低下の0.8%台後半で月末をむかえました。

【外国株式市場】

NYダウは、雇用統計の結果などを受け軟調に推移しましたが、好調な企業業績に支えられ月末にかけて持ち直す動きがあり、前月末とほぼ同じ13,213ドルで取引を終了しました。独株式市場は、スペインを含む欧州各国の債務問題の再燃があり、前月末を下回り取引を終了しました。

【外国債券市場】

米10年国債利回りは、欧州債務問題だけではなく世界景気にも先行き不透明感が高まったことで月を通じて低下基調が続き、前月末を下回り月末をむかえました。独10年国債利回りは、欧州内での資金逃避先として選好される動きが強まり、前月末を下回り月末をむかえました。

【外国為替市場】

米ドルは、米国経済の先行きに対する楽観的な見方が後退したことなどから、円高基調が続き、前月末比円高の1ドル=81円台前半で月末をむかえました。ユーロは、欧州債務問題への不安感などから売られる動きが続き、前月末比円高の1ユーロ=107円台前半で月末をむかえました。

当資料は、ハートフォード生命の、変額個人年金保険の特別勘定(ファンド)グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、ハートフォード生命より提供するものであり、ハートフォード生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。

特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。

各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。

したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

特別勘定(ファンド)グループ

特別勘定と投資対象の投資信託

特別勘定	運用資産				投資対象の投資信託	運用会社	資産配分(%)		資産合計 (百万円)
	株式		債券				投資信託	現預金 その他	
	日本	外国	日本	外国					
日本株式ファンド SR	●				シュローダー日本株式オープンVA*	シュローダー証券投信 投資顧問株式会社	96.0%	4.0%	699
日本株式インデックス ファンド225 NKA	●				インデックスファンド225 VA*	日興アセットマネジメント 株式会社	96.1%	3.9%	12,582
外国株式インデックス ファンド MS		●			インベスコ MSCIコクサイ・ インデックス・ファンド	インベスコ投信投資 顧問株式会社	97.3%	2.7%	111
アジア株式ファンド JP		●			JFアジア株・アクティブ・オープンVA*	JPモルガン・アセット・ マネジメント株式会社	96.3%	3.7%	97
外国債券ファンド PJ				●	ピムコ・海外債券ファンド*	ピムコ ジャパン リミテッド	98.3%	1.7%	2,761
外国債券インデックス ファンド TMY				●	三菱UFJ 外国債券ファンドVA2*	三菱UFJ投信株式会社	97.1%	2.9%	686
世界バランス ファンド(CB) JP	○	○	●	●	JPMワールド・CB・オープンVA*	JPモルガン・アセット・ マネジメント株式会社	97.4%	2.6%	322
マネー MA			●		三菱 MRF (マネー・リザーブ・ファンド)	三菱UFJ投信株式会社	95.0%	5.0%	1,020

* 適格機関投資家専用設定される投資信託です。

投資信託の運用方針

投資対象の投資信託	運用方針
シュローダー日本株式オープンVA*	主に日本の株式等に投資し、企業の成長性と株価の割安性を考慮した銘柄選定をすることによって、TOPIX(東証株価指数)を上回る投資成果の獲得を目指します。
インデックスファンド225 VA*	「インデックスマザーファンド225」受益証券を主要投資対象とします。同マザーファンドにて主に日本の上場株式に投資して「パーラ 日本株式モデル」を活用してポートフォリオを構築することにより、日経平均株価(日経225)に連動する投資成果の獲得を目指します。
インベスコ MSCIコクサイ・ インデックス・ファンド	主に日本を除く世界先進国の株式に投資し、モルガン・スタンレー・キャピタル・インターナショナル・コクサイ指数(MSCIコクサイ指数)に連動した投資成果を目指します。
JFアジア株・アクティブ・オープンVA*	主に日本を除くアジア各国の株式に投資し、MSCIオール・カンントリー・ファーイースト・フリー・インデックス(除く日本、円ベース)を上回る投資成果の獲得を目指します。
ピムコ・海外債券ファンド*	主に世界各国の公社債に投資し、シティグループ世界国債インデックス(除く日本、円ベース)90%および1ヶ月円LIBOR10%の合成ベンチマークを中長期的に上回る投資成果の獲得を目指します。
三菱UFJ 外国債券ファンドVA2*	主に日本を除く世界主要国の公社債に投資し、シティグループ世界国債インデックス(除く日本、円ベース)に連動する投資成果の獲得を目指します。
JPMワールド・CB・オープンVA*	主に世界各国の転換社債に投資し、投資地域分散をはかりながら、価格水準、株価との連動性等の投資効率、発行企業の成長性および安定性等を勘案し銘柄選定します。
三菱 MRF (マネー・リザーブ・ファンド)	主に信用度が高く残存期間の短い日本国内外の公社債、CP等の短期金融商品に投資することによって、安定した収益の確保を目指します。

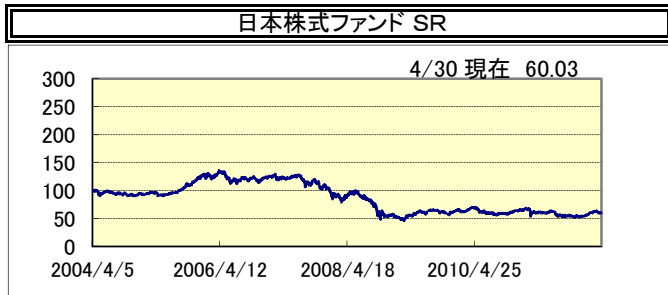
* 適格機関投資家専用設定される投資信託です。

・当資料は、ハートフォード生命の、変額個人年金保険の特別勘定(ファンド)グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、ハートフォード生命より提供するものであり、ハートフォード生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。

・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。

・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

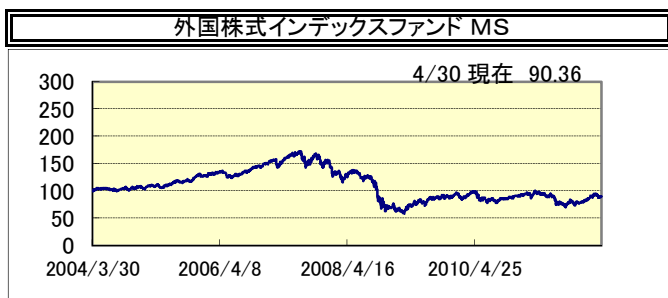
特別勘定 ユニットプライスと収益率の推移



期間収益率	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
	-5.02%	7.76%	7.41%	-2.45%	8.06%	-39.97%



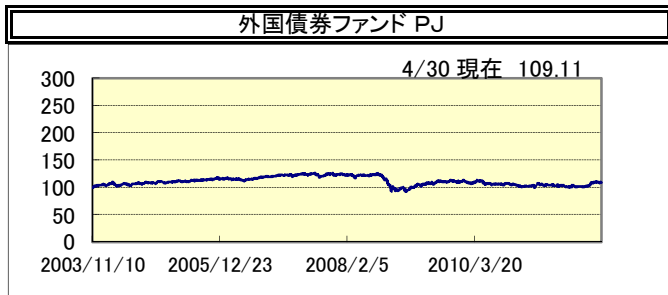
期間収益率	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
	-5.53%	8.17%	5.46%	-3.86%	4.64%	-18.22%



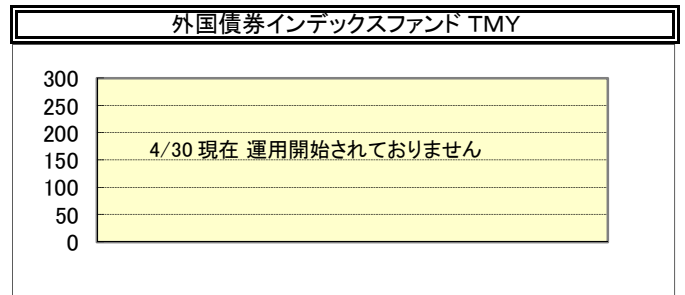
期間収益率	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
	-1.95%	10.75%	7.70%	-7.85%	20.65%	-9.64%



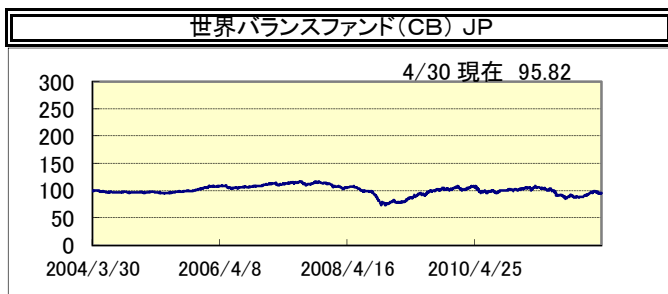
期間収益率	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
	-0.75%	8.43%	6.32%	-19.78%	20.34%	19.88%



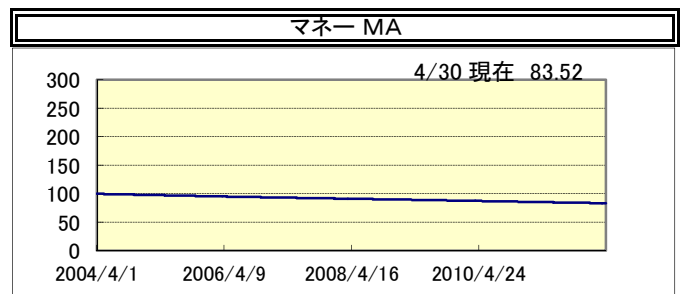
期間収益率	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
	-0.83%	6.45%	7.82%	2.30%	5.28%	9.11%



期間収益率	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
	-	-	-	-	-	-



期間収益率	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
	-1.84%	5.00%	2.99%	-10.57%	8.63%	-4.18%



期間収益率	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
	-0.18%	-0.55%	-1.12%	-2.28%	-6.62%	-16.48%

※特別勘定のユニットプライスは当初100で設定されております。

- 当資料は、ハートフォード生命の、変額個人年金保険の特別勘定(ファンド)グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、ハートフォード生命より提供するものであり、ハートフォード生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
- 特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
- 各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】

日本株式ファンド SR

【特別勘定が投資する投資信託】

シュローダー日本株式オープンVA(適格機関投資家専用)

【運用会社】

シュローダー証券投信投資顧問株式会社

主要投資対象

日本の上場および店頭株式。主にシュローダー日本株式マザーファンド受益証券を通じて投資が行われます。

運用方針

主に日本の株式等に投資し、企業の成長性と株価の割安性を考慮した銘柄選定をすることによって、TOPIX(東証株価指数)を上回る投資成果の獲得を目指します。

ファンド状況

基準価額	8,835円	純資産総額	2,894(百万円)	組入銘柄数*	87銘柄
------	--------	-------	------------	--------	------

2012年4月27日現在

■設定来の基準価額とベンチマーク(TOPIX)の推移



* マザーファンドの組入銘柄数

* 基準価額は税引前分配金を再投資した場合。

基準価額(税引前分配金再投資)とベンチマーク(TOPIX)の騰落率

	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
ファンド	-5.03%	8.63%	8.91%	-0.18%	16.68%	-11.65%
TOPIX	-5.86%	6.49%	5.26%	-5.59%	-4.00%	-12.68%

* 騰落率は実際の投資家利回りと異なります。分配金を再投資した基準価額の騰落率です。

東証1部株式組入上位銘柄

	銘柄名	業種	投資比率
1	三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	3.86%
2	本田技研工業	輸送用機器	3.83%
3	三井物産	卸売業	3.47%
4	伊藤忠商事	卸売業	2.85%
5	三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	2.72%
6	日本電信電話	情報・通信業	2.60%
7	アイシン精機	輸送用機器	2.37%
8	オリックス	その他金融業	2.37%
9	いすゞ自動車	輸送用機器	2.15%
10	セブン&アイ・ホールディングス	小売業	2.12%

東証1部以外の株式組入上位銘柄

	銘柄名	業種	投資比率
1	-	-	-
2	-	-	-
3	-	-	-
4	-	-	-
5	-	-	-

※投資比率は、マザーファンドの投資比率と当ファンドが保有するマザーファンド比率より算出しております。

組入状況

組入対象	投資比率
株式	98.21%
うち東証1部	98.21%
うち東証2部	-
うちJASDAQ	-
うち地方上場等	-
株式先物	0.17%
キャシュ等	1.62%
計	100.00%

組入上位業種

	業種名	投資比率
1	輸送用機器	12.99%
2	銀行業	9.45%
3	電気機器	9.15%
4	卸売業	8.39%
5	情報・通信業	8.11%

対TOPIXオーバーウェイト業種

	業種名	投資比率	TOPIX
1	卸売業	8.39%	5.59%
2	輸送用機器	12.99%	10.71%
3	その他金融業	3.05%	0.85%
4	医薬品	6.86%	4.78%
5	情報・通信業	8.11%	6.27%

対TOPIXアンダーウェイト業種

	業種名	投資比率	TOPIX
1	電気機器	9.15%	13.57%
2	食料品	0.00%	3.74%
3	不動産業	0.15%	2.53%
4	電気・ガス業	1.01%	2.94%
5	陸運業	2.51%	3.90%

過去の分配実績(税引前)

決算期	分配金
第6期(2007年11月20日)	0円
第7期(2008年11月20日)	0円
第8期(2009年11月20日)	0円
第9期(2010年11月22日)	0円
第10期(2011年11月21日)	0円

設定来累計	0円
-------	----

当資料は、ハートフォード生命の、変額個人年金保険の特別勘定(ファンド)グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、ハートフォード生命より提供するものであり、ハートフォード生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。

特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。

各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】

日本株式ファンド SR

【特別勘定が投資する投資信託】

シュローダー日本株式オープンVA(適格機関投資家専用)

【運用会社】

シュローダー証券投信投資顧問株式会社

主要投資対象

日本の上場および店頭株式。主にシュローダー日本株式マザーファンド受益証券を通じて投資が行われます。

運用方針

主に日本の株式等に投資し、企業の成長性と株価の割安性を考慮した銘柄選定をすることによって、TOPIX(東証株価指数)を上回る投資成果の獲得を目指します。

マンスリー・コメント

4月はTOPIXで5.9%の下落となりました。米国の雇用統計が市場予想を下回ったことで世界景気の回復期待がやや後退したことやスペインの国債利回りが上昇したことなどが嫌気され、株式市場は調整しました。為替が円高方向に振れたことも日本株にとっては重しとなりました。月末に日銀が追加金融緩和策を発表したものの、事前の期待が高まっていたこともあり、市場への影響は限定的でした。

業種別では全業種で下落となるなか、値上がり率上位5業種はその他金融業、サービス業、小売業、情報・通信業、食料品で、内需セクターが相対的に小幅な下げに留まりました。下位5業種は鉄鋼、保険業、その他製品、証券、商品先物取引業、海運業で、海外の景気減速が意識されたことで、景気敏感の中でも収益性の低い銘柄の下落が目立ちました。

世界経済はまだ楽観視できる状況にはないものの、金融システム不安による世界的な景気後退リスクは低下したと思われます。本格的な株価上昇には世界経済が回復を持続できるかが鍵となるとみており、特に米国の景気動向が注目されます。中期的には米国景気の持ち直しと新興国の経済成長を背景にグローバル経済は緩やかながらも拡大基調を辿ると予想しており、企業の業績見通しが徐々に改善して、株価は下支えされると考えます。市場全体の株価バリュエーションは低位な水準にあることから、株価の上昇余地はあるとの見通しを持っています。

当資料は、ハートフォード生命の、変額個人年金保険の特別勘定(ファンド)グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、ハートフォード生命より提供するものであり、ハートフォード生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。

・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。

・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】

日本株式インデックスファンド225 NKA

【特別勘定が投資する投資信託】

インデックスファンド225 VA (適格機関投資家向け)

【運用会社】

日興アセットマネジメント株式会社

主要投資対象

日本の上場株式。主にインデックスマザーファンド225受益証券を通じて投資が行われます。

運用方針

「インデックスマザーファンド225」受益証券を主要投資対象とします。同マザーファンドにて主に日本の上場株式に投資して「日興パーラ 日本株式モデル」を活用してポートフォリオを構築することにより、日経平均株価（日経225）に連動する投資成果の獲得を目指します。

基準価額と純資産総額

基準価額	11,168円
純資産総額	141.46億円

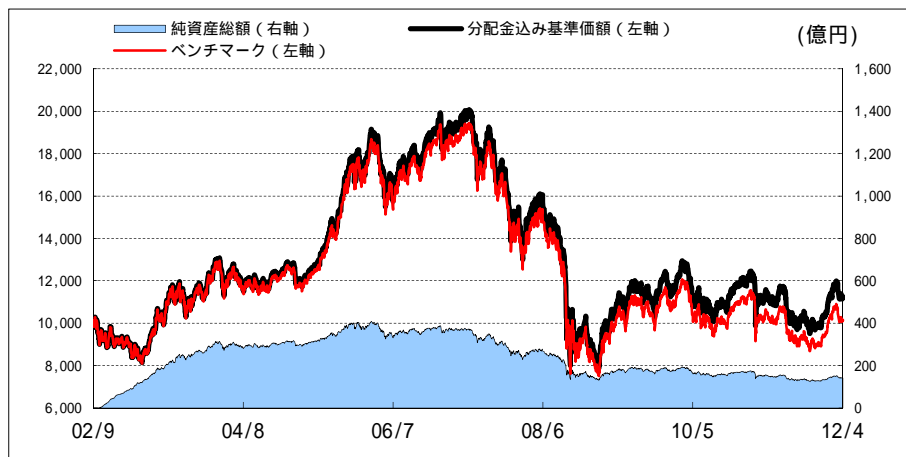
資産構成

株式	98.75 %
一部上場	98.75 %
二部上場	0.00 %
地方単独	0.00 %
ジャスダック	0.00 %
その他	0.00 %
株式先物	1.25 %
株式実質	100.00 %
現金その他	1.25 %

当ファンドの実質の組入比率です。

基準価額の推移グラフ

基準日 2012年4月27日



基準価額、ベンチマークは、設定日の前営業日を10,000として指数化しています。

ファンド（分配金再投資）とベンチマークの収益率とリスク（標準偏差）

	3ヵ月間	6ヵ月間	1年間	3年間	5年間	10年間	設定来
ファンド収益率（分配金再投資）	9.12 %	6.92 %	-1.69 %	4.02 %	-10.10 %	-	1.19 %
ベンチマーク収益率	8.16 %	5.92 %	-3.34 %	2.55 %	-11.36 %	-	0.15 %
差異	0.95 %	1.00 %	1.65 %	1.47 %	1.26 %	-	1.04 %
ファンドリスク（分配金再投資）			18.56 %	19.85 %	23.02 %	-	19.90 %
ベンチマークリスク			18.44 %	19.78 %	22.96 %	-	19.87 %

※収益率は、1年以上の場合、年率ベースで、1年未満(3ヵ月間、6ヵ月間)は、年率換算していません。

※ファンド(分配金再投資)の収益率は、当ファンド決算時に分配金があった場合の分配金を再購入(再投資)し、算出しています。

※収益率・リスクともに月次の収益率より算出しています。設定日が月中の場合、設定日が属する月は含んでいません。

株式組入上位10業種

業種名	ファンドのウェイト	ベンチマークのウェイト
1 電気機器	21.21 %	21.48 %
2 小売業	10.33 %	10.46 %
3 情報・通信業	8.62 %	8.73 %
4 輸送用機器	6.92 %	7.01 %
5 医薬品	6.38 %	6.46 %
6 化学	6.28 %	6.36 %
7 機械	4.89 %	4.95 %
8 食料品	4.39 %	4.44 %
9 精密機器	3.25 %	3.29 %
10 卸売業	2.99 %	3.03 %

ファンドのウェイトはマザーファンドの対純資産総額比です。

株式組入上位10銘柄 (組入銘柄数 225銘柄)

銘柄名	ファンドのウェイト	ベンチマークのウェイト
1 ファーストリテイリング	7.45 %	7.54 %
2 ファナック	5.65 %	5.72 %
3 京セラ	3.27 %	3.31 %
4 ソフトバンク	2.99 %	3.02 %
5 本田技研工業	2.41 %	2.44 %
6 キヤノン	2.29 %	2.32 %
7 KDDI	2.18 %	2.21 %
8 信越化学工業	1.93 %	1.95 %
9 東京エレクトロン	1.85 %	1.87 %
10 TDK	1.75 %	1.78 %

ファンドのウェイトはマザーファンドの対純資産総額比です。

・当資料は、ハートフォード生命の、変額個人年金保険の特別勘定(ファンド)グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、ハートフォード生命より提供するものであり、ハートフォード生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。

・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。

・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】

外国株式インデックスファンド MS

【特別勘定が投資する投資信託】

インベスコ MSCIロクサイ・インデックス・ファンド

【運用会社】

インベスコ投信投資顧問株式会社

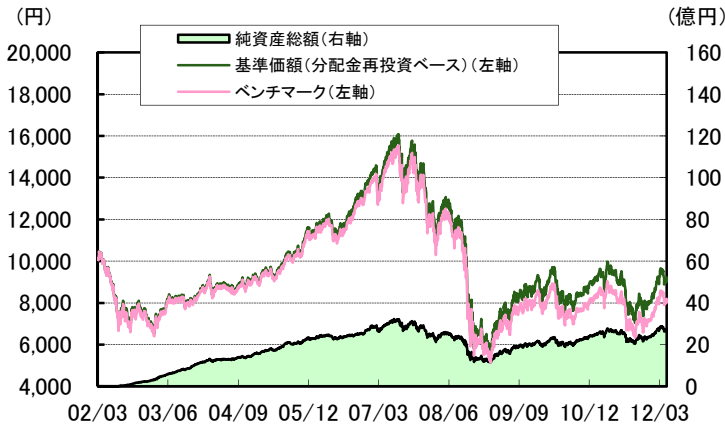
主要投資対象

日本を除く世界の先進国の株式。主にMSCIロクサイ・インデックス・マザーファンドを通じて投資が行われます。

運用方針

主に日本を除く世界先進国の株式に投資し、MSCIロクサイ・インデックスに連動した投資成果を目指します。

運用実績



*過去の運用実績は将来の運用成果を保証するものではありません。

*基準価額は税引前分配金再投資の基準価額です。

*基準価額は信託報酬控除後です。信託報酬は純資産総額に対して年率0.735%（税抜 年率0.70%）です。

*ベンチマークは、簡便法（基準日前日のドル建指数を基準日のドル円TTMレートで評価する方法）で算出した後、ファンドの設定日のベンチマークと基準価額を同値として指数化しています。

累積リターン

	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	5年	設定来 (月次)	設定来
ファンド	-1.82%	11.73%	9.29%	-5.81%	29.96%	-38.49%	-11.09%	-7.79%
ベンチマーク	-2.03%	11.12%	8.36%	-7.49%	23.74%	-43.68%	-21.00%	-

*ファンドの累積リターンは、税引前分配金再投資により算出しています。信託報酬控除後のリターンです。

*ベンチマークの累積リターンは、ファンドの基準価額算出方法と同一基準（基準日前日の各外貨建資産を基準日の各通貨毎のTTMレートで評価する方法）で月次ベースでのみ算出しています。尚、2009年5月1日より日次ベースでの算出に変更しています。

組入株式上位10銘柄（マザーファンド）

	銘柄名	国名	業種	比率
1	APPLE	アメリカ	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	2.5%
2	EXXON MOBIL	アメリカ	エネルギー	1.8%
3	MICROSOFT	アメリカ	ソフトウェア・サービス	1.1%
4	INTL BUSINESS MACHINES	アメリカ	ソフトウェア・サービス	1.1%
5	CHEVRON	アメリカ	エネルギー	0.9%
6	GENERAL ELECTRIC	アメリカ	資本財	0.9%
7	NESTLE-REG	スイス	食品・飲料・タバコ	0.9%
8	AT & T	アメリカ	電気通信サービス	0.8%
9	PROCTER & GAMBLE	アメリカ	家庭用品・パーソナル用品	0.8%
10	PFIZER	アメリカ	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	0.8%

*比率はマザーファンドの純資産総額対比で計算しています。

*業種は、MSCI世界産業分類基準の産業グループに準じています。ただし業種の情報が入手できない銘柄については、委託会社の判断により独自に分類していることがあります。

基準価額・純資産総額

2012年4月27日現在

基準価額	9,221(円)
------	----------

純資産総額	2,700(百万円)
-------	------------

*基準価額は信託報酬控除後です。

収益分配金の推移（直近4期）

	分配金
第7期 (2008.11.19)	0円
第8期 (2009.11.19)	0円
第9期 (2010.11.19)	0円
第10期 (2011.11.21)	0円
設定来累計	0円

*税引前分配金です。運用状況によっては、分配金額が変わる場合、或いは分配金が支払われない場合があります。

資産構成比率（マザーファンド）

外国株式	97.1%
先物取引	2.7%
現金等	0.1%

銘柄数

1,300

*現金他の比率は、純資産総額から組入有価証券評価額を差し引いて算出していますので一時的にマイナスになることがあります。

※外国株式には、外国投資信託証券などが含まれています。

組入株式上位5カ国（マザーファンド）

	国名	純資産比率
1	アメリカ	57.0%
2	イギリス	10.3%
3	カナダ	5.3%
4	フランス	3.9%
5	オーストラリア	3.9%

組入株式上位5業種（マザーファンド）

	業種	純資産比率
1	エネルギー	11.6%
2	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	7.6%
3	資本財	7.2%
4	銀行	7.1%
5	素材	6.9%

*業種は、MSCI世界産業分類基準の産業グループに準じています。ただし業種の情報が入手できない銘柄については、委託会社の判断により独自に分類していることがあります。

当資料は、ハートフォード生命の、変額個人年金保険の特別勘定（ファンド）グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、ハートフォード生命より提供するものであり、ハートフォード生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。

特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。

各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。

したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】

外国株式インデックスファンド MS

【特別勘定が投資する投資信託】

インベスコ MSCIロクサイ・インデックス・ファンド

【運用会社】

インベスコ投資顧問株式会社

主要投資対象

日本を除く世界の先進国の株式。主にMSCIロクサイ・インデックス・マザーファンドを通じて投資が行われます。

運用方針

主に日本を除く世界先進国の株式に投資し、MSCIロクサイ・インデックスに連動した投資成果を目指します。

運用環境

米国

4月末のNYダウ工業株30種平均指数は13,213.63(前月末比+0.0%)、S&P500種指数は1,397.91(前月末比0.7%)、ナスダック総合指数は3,046.36(前月末比-1.5%)となりました。

4月の米国株式市場は、日々の値動きが大きく方向性に欠ける展開となりましたが、結局、前月末水準近辺で月末を迎えました。上旬は3月の非農業部門雇用者数が市場予想を下回ったことや、スペインの債務残高予測値が大幅に上昇したことなどから、主要株価指数は大幅に下落しました。中旬から下旬にかけては、欧州中央銀行(ECB)幹部がスペイン国債の買い取り再開を示唆したことや、米国の追加金融緩和への期待感がプラス材料となる一方で、フランスの大統領選挙を控えて欧州債務問題の先行き不透明感が広がったことなどから、株価の変動率が高くなりました。月末近くには、情報家電大手のアップルなど一部企業の好決算にけん引される形で値を戻しました。

欧州

4月末の英国FT100指数は5,737.78(前月末比-0.5%)、ドイツDAX指数は6,761.19(前月末比-2.7%)、フランスCAC40指数は3,212.80(前月末比-6.2%)となりました。

4月の欧州主要株式市場は下落しました。月初めは、スペイン国債の利回りが大きく上昇したことで、ギリシャの債務借り換え問題にいったんめどが付き収束の兆しがあった欧州高債務国の財政不安が再燃し、株式市場は下落しました。その後は、大幅に下落した株価への割安感や、企業業績の改善期待などから下値を大きく切り下げる展開とはなりませんでした。ユーロ圏の経済指標が市場予想を下回る弱い内容となったことや、フランスの大統領選挙においてユーロ危機の沈静化に重要な役割を担ってきた現職のサルコジ氏が苦戦を強いられているとの観測を受けて上値も重く、前月末の水準を下回ったまま月末を迎えました。

アジア

4月末の香港ハンセン指数は21,094.21(前月末比+2.6%)、シンガポールST指数は2,978.57(前月末比1.1%)、オーストラリア全普通株指数は4,467.20(前月末比+1.1%)となりました。

4月のアジア主要株式市場は、国ごとにまちまちで方向性に欠ける株価推移となりました。3月に下落した中国本土と香港の株式市場は、中国の2012年第1四半期実質国内総生産(GDP)成長率が予想を下回るなどマイナス要因もありましたが、前月下落した金融、不動産関連株を中心に反発しました。シンガポール市場は、強弱入り混じったマクロ経済指標や個別銘柄の決算発表などを織り込みながら月を通して狭いレンジ内で推移しました。オーストラリア市場は、今年に入って4カ月連続の上昇となりました。前月に引き続き、中国景気の減速懸念などからエネルギー・素材関連株は軟調な展開となりましたが、通信サービスや金融などが上昇しました。

今後の見通し

世界の主要株式市場は、リーマン・ショック後の高値近辺のレンジ内で推移しています。2011年末から2012年3月までは、欧州銀行への長期資金供給策や、米国の追加緩和策への期待などを受けて株価は比較的堅調に推移してきましたが、4月は、スペインの財政悪化懸念など欧州債務問題が再燃したことやフランス大統領選挙をめぐる不透明感などから、やや軟調な展開となりました。米国内でも、欧州問題に加えて、主要企業の四半期決算がおおむね予想を上回る一方で主要経済指標の一部が予想を下回ったことなどから、神経質な株価推移となっています。今後も、株式市場は企業業績や各国の政策および経済指標などを見極めながら、方向性に欠ける展開になるものと予想しています。

・ファンド・マネジャーのコメントは、将来の市場環境を保証するものではなく、このため、将来の投資成果等を保証するものではありません。将来の市場環境の変動等により、当該運用方針が変更される場合があります。本書は信頼できる公開情報に基づいて作成されたものですが、その情報の正確性あるいは完全性は保証されていません。

・当資料は、ハートフォード生命の、変額個人年金保険の特別勘定(ファンド)グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、ハートフォード生命より提供するものであり、ハートフォード生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。

・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。

・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】

アジア株式ファンド JP

【特別勘定が投資する投資信託】

JFアジア株・アクティブ・オープンVA(適格機関投資家専用)

【運用会社】

JPモルガン・アセット・マネジメント株式会社

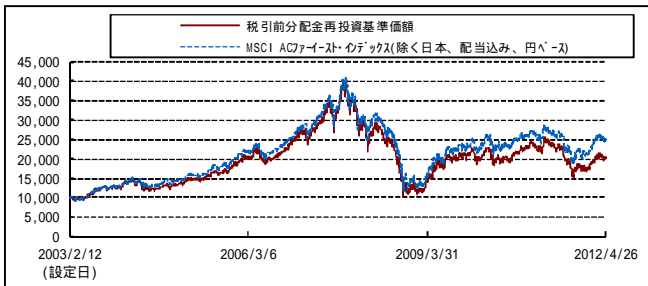
主要投資対象

主に日本を除くアジア各国の株式に投資するJFアジア株・アクティブ・オープン・マザーファンド(適格機関投資家専用)受益証券を主要投資対象とします。

運用方針

主に日本を除くアジア各国の株式に投資し、MSCI ACファースト・インデックス(除く日本、配当込み、円ベース)を上回る投資成果の獲得を目指します。

設定来の基準価額(税引前分配金再投資)およびMSCI ACファースト・インデックス(除く日本、配当込み、円ベース)の推移



*MSCI ACファースト・インデックス(除く日本、配当込み、円ベース)は、設定日の前営業日を10,000として指数化しております。

*上記グラフは過去の実績であり、将来の運用成果をお約束するものではありません。

*基準価額は、信託報酬率 年1.155%(税込)で計算した信託報酬控除後の数値です。

ファンド情報

騰落率	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	5年	設定来
ファンド	-0.6%	9.3%	7.8%	-18.8%	29.5%	-28.3%	102.2%
ベンチマーク	-2.0%	9.8%	11.2%	-11.8%	45.7%	-15.8%	148.2%
基準価額	20,224円			月中高値(4月4日)	20,873円		
				月中安値(4月12日)	19,807円		
株式等実質組入比率(マザーファンド)	98.17%			コール・ローン等(マザーファンド)	1.83%		
純資産総額	4.11億円			組入銘柄数(マザーファンド)	75		
為替ヘッジ比率	0.00%						

<分配金(税引前)の推移> *分配金は過去の実績であり将来の成果を保証しません。

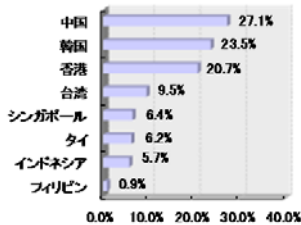
設定来合計	第1期 2003年11月	第2期 2004年11月	第3期 2005年11月	第4期 2006年11月	第5期 2007年11月
0円	0円	0円	0円	0円	0円
第6期 2008年11月	第7期 2009年11月	第8期 2010年11月	第9期 2011年11月	第10期 2012年11月	第11期 2013年11月
0円	0円	0円	0円	0円	0円

*騰落率については、基準価額に税引前分配金を再投資したもとして計算しております。

*ベンチマークはMSCI ACファースト・インデックス(除く日本、配当込み、円ベース)を採用し、設定日の前営業日を基準値としております。

*騰落率は実際の投資家利回りとは異なります。

国別構成比率(マザーファンド)



*国別については、MSCI分類に基づき分類しておりますが、JPモルガン・アセット・マネジメント株式会社の判断に基づき分類したものが一部含まれます。

*比率は組入株式を100%として計算しております。

業種別構成比率(マザーファンド)



*業種については、MSCI24分類に基づき分類しておりますが、JPモルガン・アセット・マネジメント株式会社の判断に基づき分類したものが一部含まれます。

*比率は組入株式を100%として計算しております。

商品概要

1. 信託期間: 無期限
2. 決算日: 原則11月15日(休業日の時は翌営業日)
3. 当初設定日: 2003年2月12日

*MSCI ACファースト・インデックスは、MSCI Inc. が発表しております。同インデックスに関する情報の確実性および完結性をMSCI Inc. は何ら保証するものではありません。著作権はMSCI Inc. に帰属しております。MSCI ACファースト・インデックス(除く日本、配当込み、円ベース)は、当社が発表したMSCI ACファースト・インデックス(除く日本、配当込み、米ドルベース)を委託会社にて円ベースに換算したものです。

*MSCI ACファースト・インデックス(除く日本、配当込み、円ベース)は、MSCIオール・カンントリー・ファースト・インデックス(除く日本、配当込み、円ベース)から名称変更されました。

組入上位10銘柄(マザーファンド)

(2012年3月30日現在)

銘柄	国別	業種	比率
1 SAMSUNG ELECTRONICS	韓国	半導体・半導体製造装置	6.5%
2 CHINA CONSTRUCTION BANK CORPORATION-H	中国	銀行	4.4%
3 THE WHARF HOLDINGS LIMITED	香港	不動産	4.0%
4 AGRICULTURAL BANK OF CHINA	中国	銀行	3.3%
5 CHEUNG KONG	香港	不動産	3.3%
6 CNOOC LTD	中国	エネルギー	2.6%
7 PT UNITED TRACTORS TBK	インドネシア	資本財	2.5%
8 JARDINE MATHESON HLDS LTD	香港	資本財	2.4%
9 KEPPEL CORPORATION LIMITED	シンガポール	資本財	2.2%
10 PT ASTRA INTERNATIONAL INC	インドネシア	自動車・自動車部品	2.1%

*株式組入上位10銘柄については、開示基準日がその他の情報と異なります。

*国別については、MSCI分類に基づき分類しておりますが、JPモルガン・アセット・マネジメント株式会社の判断に基づき分類したものが一部含まれます。

*業種については、MSCI24分類に基づき分類しておりますが、JPモルガン・アセット・マネジメント株式会社の判断に基づき分類したものが一部含まれます。

*比率は対純資産で計算しております。

・当資料は、ハートフォード生命の、変額個人年金保険の特別勘定(ファンド)グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、ハートフォード生命より提供するものであり、ハートフォード生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。

・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。

・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】

アジア株式ファンド JP

【特別勘定が投資する投資信託】

JFアジア株・アクティブ・オープンVA(適格機関投資家専用)

【運用会社】

JPモルガン・アセット・マネジメント株式会社

主要投資対象

主に日本を除くアジア各国の株式に投資するJFアジア株・アクティブ・オープン・マザーファンド(適格機関投資家専用)受益証券を主要投資対象とします。

運用方針

主に日本を除くアジア各国の株式に投資し、MSCI ACファースト・インデックス(除く日本、配当込み、円ベース)を上回る投資成果の獲得を目指します。

市場概況

4月のアジア株式市場は小幅下落となりました。中国の金融緩和に対する期待感や世界景気への懸念が和らいだことなどが支援材料となった一方で、米国の雇用統計が市場予想を下回ったことや、欧州経済への懸念などから上値の重い展開となりました。

運用状況

《対ベンチマーク要因分析》

・当月の当ファンドの基準価額騰落率は-0.6%となったものの、ベンチマークの-2.0%を上回りました。

△プラス要因

・当月堅調であったタイへの投資比率を対ベンチマークで高めとしていたこと。

▼マイナス要因

・当月さほど振るわなかったインドネシアへの投資比率を対ベンチマークで高めとしていたこと。

市場見通しと運用方針

今後、欧州債務問題をはじめとした欧州の経済動向に再び注目が集まることが予想され、不透明なマクロ経済環境が株式市場の重石となることが考えられます。一方で、アジア企業の今後の収益見通しは安定的と見えています。また、各国中央銀行の金融政策はより緩和の方向に進むことが予想され、これらは株価の支援材料となると考えています。

《各国の見通し》

国	中国	香港	韓国	台湾	シンガポール	タイ	インドネシア	フィリピン	マレーシア
見通し	強気	中立	中立	弱気	弱気	強気	強気	中立	弱気
前月末比較	→	→	→	→	→	→	→	→	→

*前月末比較欄の ↑ は"引き上げ"、 ↓ は"引き下げ"、 → は"変更なし"を示しています。

＜中国、香港＞

・中国市場へは強気姿勢を維持—経済成長の阻害要因となってきた輸出の低迷や不動産販売などにおいて、足元で底打ちの兆しが見え始めていることや、銀行融資の拡大などが好材料。

・香港市場へは中立姿勢を維持。

＜韓国＞

・韓国市場へは中立姿勢を維持—割安と見られる株価バリュエーション(割安度)や外需回復の恩恵を受けると期待されることが支援材料。

＜台湾＞

・台湾市場へは慎重な姿勢を維持—政府が提案したキャピタルゲイン課税の再開が悪材料。引き続き、外部環境による影響も注視。

＜アセアン地域＞

・シンガポール—慎重な姿勢を維持。金融通貨庁が金融政策をやや引き締めに変更し、2012年のインフレ見通しを引き上げるなど、引き続き高水準で推移するインフレ率が懸念材料。

・タイ—強気姿勢を維持。旺盛な個人消費や加速する投資が、昨年の洪水からの経済回復を下支えすると共に、割安感があると見られる株価が好材料。

・インドネシア—強気姿勢を維持。国内需要も良好で長期的には同国経済は堅調に推移すると予想。

上記運用状況及び運用方針については、実質的な運用を行うマザーファンドに係る説明を含みます。

・当資料は、ハートフォード生命の、変額個人年金保険の特別勘定(ファンド)グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、ハートフォード生命より提供するものであり、ハートフォード生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。

・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。

・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】

外国債券ファンドPJ

【特別勘定が投資する投資信託】

ピムコ・海外債券ファンド(適格機関投資家専用)

【運用会社】

ピムコジャパンリミテッド

主要投資対象

日本を除く世界各国の各種公社債。

運用方針

主に世界各国の公社債に投資し、シティグループ世界国債インデックス(除く日本、円ベース)90%および1ヶ月円LIBOR10%の合成ベンチマークを中長期的に上回る投資成果の獲得を目指します。

[追加型証券投資信託/ファンドオブファンズ]

[基準価額] 13,519 円

[設定日]

2002年9月24日

[決算日]

毎年9月25日

1. パフォーマンス

設定以来の基準価額の推移



騰落率

	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	2年*	設定来*
ファンド**	-0.65%	7.15%	9.21%	4.81%	0.69%	3.19%
ベンチマーク**	-1.14%	6.26%	6.39%	1.09%	-1.89%	2.14%
超過収益	0.49%	0.89%	2.82%	3.72%	2.58%	1.05%

*信託報酬控除後、1年を超える期間は年率換算してあります。

**シティグループ世界国債インデックス(除く日本、為替ヘッジなし)90%、1ヶ月日本円Libor10%を合成したものです。

分配実績

	第1期	第2期	第3期	第4期	第5期	第6期	第7期	第8期	第9期	累計
日付	9/25/03	9/27/04	9/26/05	9/25/06	9/25/07	9/25/08	9/25/09	9/27/10	9/26/11	-
金額	0 円	0 円	0 円	0 円	0 円	0 円	0 円	0 円	0 円	0 円

PIMCO

・当資料は、ハートフォード生命の、変額個人年金保険の特別勘定(ファンド)グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、ハートフォード生命より提供するものであり、ハートフォード生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。

・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。

・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】

外国債券ファンドPJ

【特別勘定が投資する投資信託】

ビムコ・海外債券ファンド(適格機関投資家専用)

【運用会社】

ビムコ ジャパン リミテッド

主要投資対象

日本を除く世界各国の各種公社債。

運用方針

主に世界各国の公社債に投資し、シティグループ世界国債インデックス(除く日本、円ベース)90%および1ヶ月円LIBOR10%の合成ベンチマークを中長期的に上回る投資成果の獲得を目指します。

2. ファンド特性

(数値はすべて、当ファンドが組入れている2本のファンドを合算して算出しております。)

【ファンドの一般的特性】

平均クーポン	3.38%
平均直接利回り	3.13%
平均最終利回り	3.01%
平均デュレーション(年)	4.50
平均償還期間(年)	6.52
平均格付け*	AA
債券組入比率	99.08%

*平均格付けとは、基準日時点で投資信託財産が保有している有価証券に係る信用格付を加重平均したものであり、当該投資信託受益証券に係る信用格付ではありません。

【格付構成比】

格付	組入比率
AAA	71.60%
AA	9.00%
A	16.40%
BBB	2.70%
BB以下	0.00%
A1/P1	0.30%
A2/P2	0.00%
合計	100.00%

【国別配分】

国名	組入比率
アメリカ	33.32%
ユーロ圏	48.51%
イギリス	8.62%
カナダ	-0.40%
メキシコ	4.61%
オーストラリア	0.80%
日本	0.13%
その他	4.41%
合計	100.00%

【種別配分】

セクター名	組入比率
国債、エージェンシー債	46.53%
モーゲージ債、アセットバック債	19.54%
社債	33.01%
キャッシュ等*	0.92%
合計	100.00%

*「キャッシュ等」にはCP等も含まれます。

3. 運用担当者のコメント

《市場コメント》

米国債券相場は、月初に公表された3月FOMC(連邦公開市場委員会)の議事録や米雇用統計において非農業部門雇用者数の伸びが市場予想を大きく下回ったこと、住宅関連の経済指標が弱めの内容だったことを受け、月を通じて堅調な展開となりました。(2年債利回りは前月比0.07%低下、10年債利回りは前月比0.30%低下しました。)ユーロ圏債券相場は、月前半、スペインにおける財政再建に対する懸念が高まったことを受けて、投資家がリスク回避姿勢を強める中、相対的に安全資産とみられたドイツ国債は堅調な推移となりました。その後、過去最低水準の利回りが嫌気されたことでドイツ10年国債入札が振るわない結果となったことから、ドイツ国債が下落する局面も見られました。しかし、ユーロ圏の景気減速を示す経済指標が発表されたことなどから、月末にかけてドイツ国債は再び堅調な推移となり、月を通じても上昇する結果となりました。(2年債利回りは前月比0.13%低下、10年債利回りは前月比0.13%低下しました。)英国債券相場は、月初、欧州債務問題の先行き不透明感がくすぶる中、他の主要先進国の債券相場が堅調な推移となった流れを受けて、上昇基調となりました。(2年債利回りは前月比0.03%上昇、10年債利回りは前月比0.09%低下しました。)日本債券相場は、海外市場で債券高の流れとなった中で、概ね堅調に推移しました。また月末には日銀が資産買い入れ基金の5兆円増額や、買い入れ対象国債の年限を3年に延長する追加金融緩和を決定したことも、日本債券市場へのサポート要因となりました(2年債利回りは前月比ほぼ横ばいで推移、10年債利回りは前月比0.09%低下しました。)

《パフォーマンス》

先月のパフォーマンスはマイナス0.65%となり、ベンチマークを0.49%上回りました。国別選択で欧州周辺国の保有を少なめとしたことはプラスとなった一方、米国で金利リスクを少なめとした戦略はマイナスとなりました。

《今月の運用方針》

世界経済は、景気回復の速度が各国で異なるグローバル経済の「多速度化」が進むと考えております。米国では、足元で消費者向け融資が復活しつつあるなど経済指標に改善傾向が見られ、長期にわたり低迷していた住宅部門に回復の兆しが見られ始めていることは景気のプラス材料といえます。ただし、財政面での制約が強まる中、景気刺激への切り札が少なくなっていることは景気への重石と考えられ、本格的な景気回復には時間がかかるものと予想しております。今後の投資戦略としては、先進国の金利が歴史的な低水準にあり低下余地が限られる中、ポートフォリオ全体の金利リスクを中立から少なめで調節します。債券セクター別には、社債については過度なリスクを取らないよう高格付けセクターへの投資を継続し、選択的な保有を継続する方針です。また、モーゲージ債についても、ファンダメンタルズ対比でみて投資妙味のある銘柄を厳選して保有してまいります。

・当資料は、ハートフォード生命の、変額個人年金保険の特別勘定(ファンド)グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、ハートフォード生命より提供するものであり、ハートフォード生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。

・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。

・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】
外国債券インデックスファンド TMY

【特別勘定が投資する投資信託】
三菱UFJ 外国債券ファンドVA2 (適格機関投資家限定)

【運用会社】
三菱UFJ投信株式会社

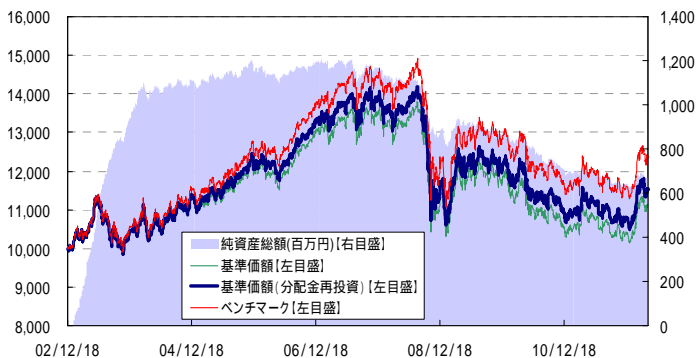
主要投資対象

日本を除く世界主要国の公社債。主に三菱UFJ 外国債券マザーファンド受益証券を通じて投資が行われます。

運用方針

主に日本を除く世界主要国の公社債に投資し、シティグループ世界国債インデックス(除く日本、円ベース)に連動する投資成果の獲得を目指します。

設定来の運用実績



・基準価額、基準価額(分配金再投資)、ベンチマークは設定日を10,000として指数化しています。
・基準価額および基準価額(分配金再投資)は、信託報酬(純資産総額に対し、年率0.714%(税抜 0.68%))控除後の値です。
・基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

ファンド現況

	2012/4/27	前月末	前月末比
基準価額	11,108円	11,242円	-134円
純資産総額(百万円)	668	682	-14

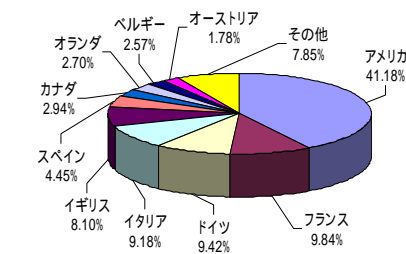
	基準価額	日付
設定来高値	13,795円	2008/8/7
設定来安値	9,859円	2003/11/11

騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	-1.19%	7.04%	4.76%	0.91%	-5.24%	15.18%
ベンチマーク	-1.27%	6.95%	7.09%	1.16%	-2.68%	23.49%
差	0.08%	0.09%	-2.32%	-0.25%	-2.56%	-8.31%

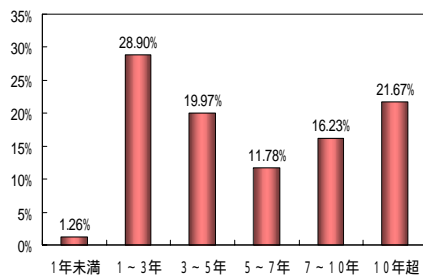
・ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。
また、ファンドの騰落率と実際の投資者利回りは異なります。
・設定来のファンドの騰落率は、10,000を起点として計算しています。

国別配分



・比率は現物債券評価額に対する割合です。

残存別組入比率



・比率は純資産総額に対する割合です。

組入上位10銘柄

(組入銘柄数: 620 銘柄)

銘柄	種別	クーポン	償還日	国名	比率
1 3.625 T-NOTE 210215	国債	3.625%	2021/2/15	アメリカ	0.58%
2 3.125 T-NOTE 210515	国債	3.125%	2021/5/15	アメリカ	0.57%
3 3.625 T-NOTE 200215	国債	3.625%	2020/2/15	アメリカ	0.48%
4 2.125 T-NOTE 210815	国債	2.125%	2021/8/15	アメリカ	0.48%
5 4.25 T-BOND 401115	国債	4.250%	2040/11/15	アメリカ	0.42%
6 3.5 T-NOTE 200515	国債	3.500%	2020/5/15	アメリカ	0.39%
7 2 T-NOTE 211115	国債	2.000%	2021/11/15	アメリカ	0.39%
8 4.375 T-BOND 410515	国債	4.375%	2041/5/15	アメリカ	0.38%
9 2.625 T-NOTE 200815	国債	2.625%	2020/8/15	アメリカ	0.38%
10 4.375 T-BOND 400515	国債	4.375%	2040/5/15	アメリカ	0.37%

・比率は純資産総額に対する割合です。

・シティグループ世界国債インデックス(除く日本、円ベース)とは、シティグループ・グローバル・マーケット・リンクが開発した、日本を除く世界主要国の国債の総合投資利回りを各市場の時価総額で加重平均し指数化した債券インデックスです。

当資料は、ハートフォード生命の、変額個人年金保険の特別勘定(ファンド)グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、ハートフォード生命より提供するものであり、ハートフォード生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。
したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】

世界バランスファンド(CB) JP

【特別勘定が投資する投資信託】

JPMワールド・CB・オープンVA (適格機関投資家専用)

【運用会社】

JPモルガン・アセット・マネジメント株式会社

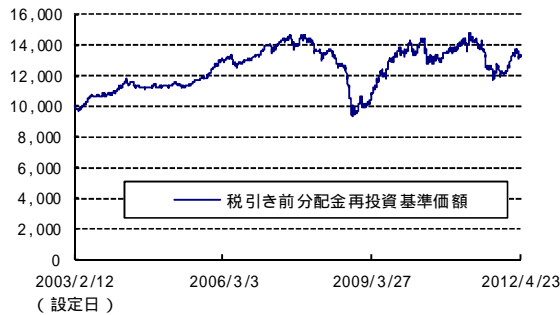
主要投資対象

世界各国の転換社債。主にJPMワールド・CB・オープン・マザーファンド受益証券を通じて投資が行われます。

運用方針

マザーファンドを通じ主に世界各国の転換社債に投資し、投資地域分散をはかりながら、価格水準、株価との連動性等の投資効率、発行企業の成長性および安定性等を勘案し銘柄選定します。

設定来の基準価額(税引き前分配金再投資)の推移



*上記グラフは過去の実績であり、将来の運用成果をお約束するものではありません。
*基準価額は、信託報酬率年1.05%(税抜1.00%)で計算した、信託報酬控除後の数値です。

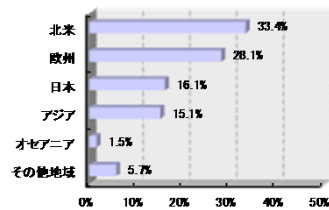
ファンド情報

騰落率	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	5年	設定来
ファンド	-1.7%	5.7%	4.3%	-8.7%	16.9%	-5.5%	33.0%
基準価額	13,302円			月中高値 (4月2日)	13,676円		
				月中安値 (4月11日)	13,181円		
有価証券組入比率	97.30%			コール・ローン等	2.70%		
純資産総額	3.14億円			銘柄数	147		
為替ヘッジ比率	32.37%						

設定来合計	第1期 2004年1月	第2期 2005年1月	第3期 2006年1月	第4期 2007年1月	第5期 2008年1月
0円	0円	0円	0円	0円	0円
第6期 2009年1月	第7期 2010年2月	第8期 2011年1月	第9期 2012年1月	第10期 2013年1月	第11期 2014年1月
0円	0円	0円	0円	0円	0円

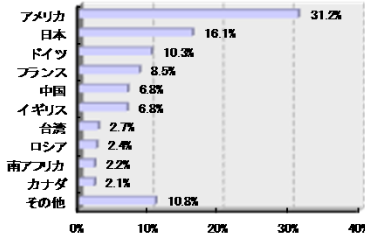
*騰落率については、基準価額に税引き前分配金を再投資して計算しております。
*騰落率は実際の投資家利回りと異なります。
*有価証券組入比率、コール・ローン等、銘柄数については、マザーファンドのデータとなっております。
*為替ヘッジはベビーファンドに対するものです。
(マザーファンドへの為替ヘッジはございません。)
*為替ヘッジ比率は、外貨建て資産総額に対する為替ヘッジ金額で計算しております。
*売買等の計上タイミングの影響や急激な市場環境の変動により、一時的に有価証券組入比率や為替ヘッジ比率が100%を超える場合があります。

地域別構成比率(マザーファンド)



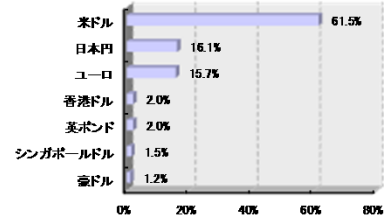
*比率は組入れ有価証券を100%として計算しております。
*地域は転換対象とする株式の情報に基づき分類しております。

国別構成比率(マザーファンド)



*比率は組入れ有価証券を100%として計算しております。
*国は転換対象とする株式の情報に基づき分類しております。

通貨別構成比率(マザーファンド)



*比率は組入れ有価証券を100%として計算しております。

商品概要

1. 信託期間: 無期限
2. 決算日: 原則1月30日(休業日の時は翌営業日)
3. 当初設定日: 2003年2月12日

組入上位10銘柄(マザーファンド)

2012年3月30日現在						
銘柄	クーポン	償還日	国	業種	通貨	比率
1 KDDI 0% CB	0.000%	2015年12月14日	日本	情報・通信業	日本円	3.8%
2 SIEMENS 1.65% WW	1.650%	2019年8月16日	ドイツ	資本財	米ドル	3.6%
3 アサヒビール 0% CB	0.000%	2028年5月26日	日本	食料品	日本円	2.0%
4 AMGEN INC 0.375% B CB	0.375%	2013年2月1日	アメリカ	医薬品/バイオテクノロジー/ファーマセウティクス	米ドル	2.0%
5 MICROSOFT 0% 144A CB	0.000%	2013年6月15日	アメリカ	ソフトウェア・サービス	米ドル	2.0%
6 LUKOIL 2.625% CB	2.625%	2015年6月16日	ロシア	エネルギー	米ドル	1.9%
7 CHINA UNICOM 0.75% CB	0.750%	2015年10月18日	中国	電気通信サービス	米ドル	1.9%
8 GOLDCORP INC 2% CB	2.000%	2014年8月1日	カナダ	素材	米ドル	1.7%
9 ユニ・テアム 0% CB	0.000%	2013年9月24日	日本	化学	日本円	1.6%
10 オリックス 1% CB	1.000%	2014年3月31日	日本	その他金融業	日本円	1.6%

*組入上位10銘柄については、開示基準日がその他の情報と異なります。 *比率は対純資産で計算しております。
*銘柄欄の「CB」は転換社債、「EB」は他社株転換社債、「PFD」は優先証券、「WW」はワラント債を表しています。
*銘柄にクーポンの表記がないものは、クーポンレートが変動する有価証券です。この場合、クーポン欄の数字は、前回利払い時のクーポンとなっており、次回利払い時におけるクーポンとは異なる可能性があります。
*業種および国は転換対象とする株式等の情報です。
*業種については外国債券がMSCI24分類、国内債券が東証33分類に基づき分類しております。

当資料は、ハートフォード生命の、変額個人年金保険の特別勘定(ファンド)グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、ハートフォード生命より提供するものであり、ハートフォード生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。
したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】

世界バランスファンド(CB) JP

【特別勘定が投資する投資信託】

JPMワールド・CB・オープンVA(適格機関投資家専用)

【運用会社】

JPモルガン・アセット・マネジメント株式会社

主要投資対象

世界各国の転換社債。主にJPMワールド・CB・オープン・マザーファンド受益証券を通じて投資が行われます。

運用方針

マザーファンドを通じて主に世界各国の転換社債に投資し、投資地域分散をはかりながら、価格水準、株価との連動性等の投資効率、発行企業の成長性および安定性等を勘案し銘柄選定します。

市場概況

4月の世界CB市場は、リスク回避の傾向が強まったことを背景に軟調な展開となりました。

スペイン財政の長期的な持続可能性への懸念を背景にスペイン国債の利回りが上昇するなど、欧州債務危機への不安が再び市場に広がったほか、米国では、雇用や住宅関連など市場の失望を招く経済指標が多く見られました。一方、これまでに発表された1-3月期の企業業績に目を向けると、米国では大半の企業が市場予想を上回る結果となり、欧州でも広範な業種において前四半期と比べ改善が見られました。中国では、1-3月期の実質GDP(国内総生産)成長率が市場予想を下回ったことから、更なる金融緩和への期待が高まりました。

世界のCB市場動向を表わすUBSグローバルCBインデックスの当月のパフォーマンス※は、米ドルベースで約0.7%の下落となりました。地域別では、日本*1、米国*2、欧州*3がマイナスのリターンとなりましたが、アジア(除く日本)*2は小幅に上昇しました。

※ 基準日は2012年4月30日 *1 円ベース *2 ドルベース *3 ユーロベース

運用状況

4月の当ファンドの基準価額(税引き前分配金再投資ベース)は下落しました。CB市場が概ね軟調となったことや投資通貨が円に対して下落したことが、基準価額を押し下げました。セクター別では、テクノロジーや資本財・サービスセクターが振るいませんでした。当月、CBの新規発行市場からは、複数の地域、セクターの銘柄購入を行いました。株価連動性は前月の水準から低下しました。

市場見通しと運用方針

スペイン国債利回りの上昇は、ユーロ圏が直面している構造的問題を市場が再認識するきっかけとなりました。緊縮策によりスペインの景気は更に厳しさを増し、同国では財政赤字削減に苦戦する状況が続いています。緊縮策をめぐる対立から内閣が総辞職に追い込まれたオランダや大統領選で緊縮財政の見直しを訴えたオランド氏が勝利したフランスなど、最近の欧州の動向を見ると、緊縮財政についての政治的合意が崩れる可能性も浮上しています。マクロ経済環境が不安定な反面、企業の収益性は改善が続いています。株式市場においては、企業の魅力的なファンダメンタルズ(基礎的条件)がバリュエーション(価格評価)に十分反映されるまでに時間を要する可能性もありますが、当面は各中央銀行の金融政策が下支えとなると考えています。

CBの新規発行市場については、低調となる傾向のある夏季に向けて、発行額の著しい増加は見られないと予想しています。また、当月は投資家のリスク回避姿勢が強まったことから、CBのバリュエーションはやや割安な水準となっていると見ています。しかし、株式よりもリスクを低く抑えながら、株式市場が回復した場合にも恩恵を受けることができると考えられるCBへの需要は今後も継続すると期待され、CB市場の支援材料になると考えています。

このような環境下、当ファンドの運用においては、様々な地域や幅広い業種のCBに投資することによりリスクの分散を図っていく方針です。株価連動性は現在の水準を維持し、為替ヘッジについては、当ファンドの基準価額の下振れを抑えることに重点を置き、今後も随時見直しを実施して調整していく方針です。

- ・ 上記運用状況および運用方針については、実質的な運用を行うマザーファンドに係る説明を含みます。
- ・ UBSグローバルCBインデックスは、UBS AGが発表しており、著作権はUBS AGに帰属しております。

当資料は、ハートフォード生命の、変額個人年金保険の特別勘定(ファンド)グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、ハートフォード生命より提供するものであり、ハートフォード生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】
マネー MA

【特別勘定が投資する投資信託】
三菱 MRF(マネー・リザーブ・ファンド)

【運用会社】
三菱UFJ投信株式会社

主要投資対象

国内外の公社債、コマーシャル・ペーパーを主要投資対象とします。

運用方針

主に信用度が高く残存期間の短い日本国内外の公社債、CP等の短期金融商品に投資することによって、安定した収益の確保を目指します。

ファンド概況

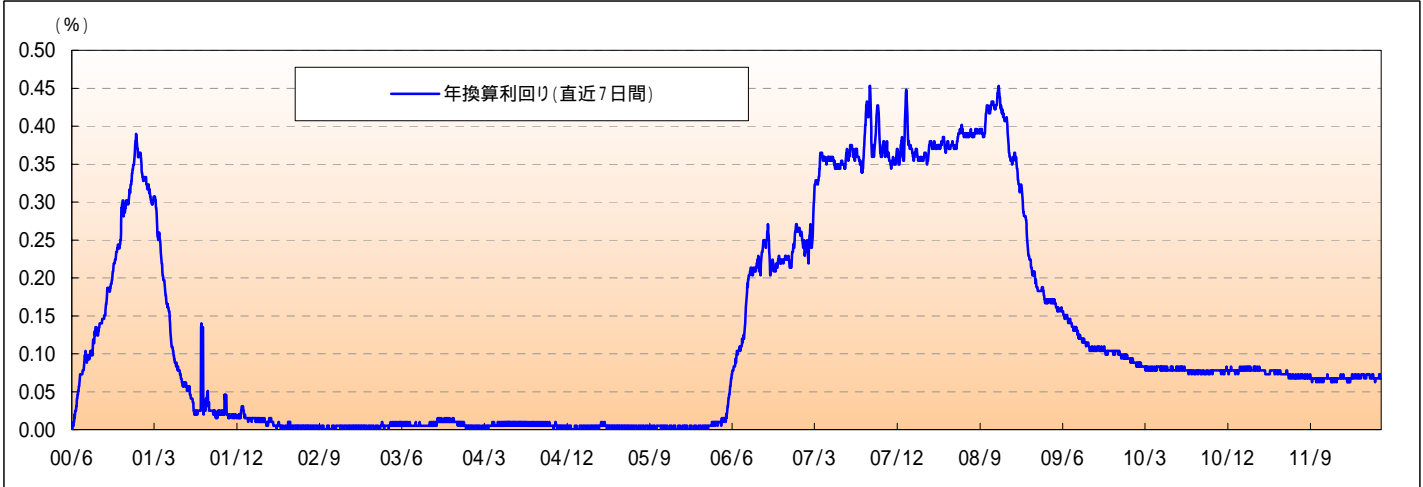
	2012年4月末	2012年3月末
基準価額	10,000円	10,000円
純資産総額(百万円)	36,186	35,651
組入銘柄数	14銘柄	13銘柄
実質債券組入比率	95.33%	91.15%
内 現物	95.33%	91.15%
内 先物	0.00%	0.00%
短期金融資産	4.67%	8.85%
平均残存日数	36.13日	32.22日

ファンドの特色

信用度が高く、残存期間の短い内外の公社債およびコマーシャル・ペーパーを中心に投資し、安定した収益の確保をめざして安定運用を行います。

・基準価額は、信託報酬(信託元本の額に対して年率1.0%以内)控除後のものです。
・比率は純資産総額に対する割合です。
・決算日の基準価額が1口当たり1円を下回っている場合には、追加設定は行いません。

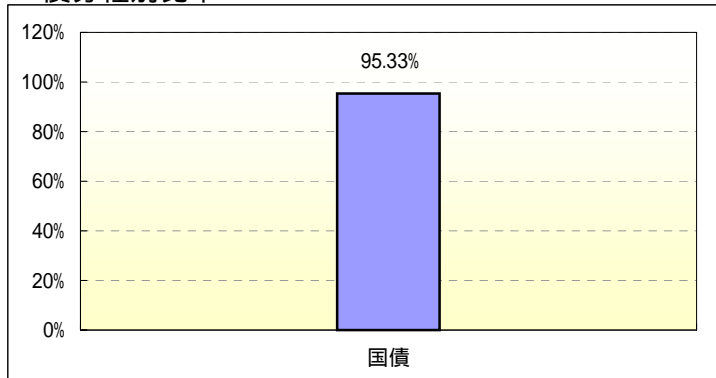
直近7日間の年換算利回りの推移



組入上位10銘柄

	銘柄	比率
1	第264回国庫短期証券	23.49%
2	第270回国庫短期証券	17.96%
3	第260回国庫短期証券	5.53%
4	第262回国庫短期証券	5.53%
5	第275回国庫短期証券	5.53%
6	第255回国庫短期証券	4.15%
7	第257回国庫短期証券	4.15%
8	第261回国庫短期証券	4.14%
9	第265回国庫短期証券	4.14%
10	第268回国庫短期証券	4.14%

債券種別比率



・比率は純資産総額に対する割合です。(一部買現先を含みます。)

・比率は純資産総額に対する割合です。(一部買現先を含みます。)

当資料は、ハートフォード生命の、変額個人年金保険の特別勘定(ファンド)グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、ハートフォード生命より提供するものであり、ハートフォード生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。

・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。

・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。

したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。